



中部電力パワーグリッド



電力料金を取り巻く 中部電力パワーグリッドの状況

2023年2月21日

中部電力パワーグリッド株式会社

■ そもそも、いま中部電力はどうなっているのか？

以前

中部電力株式会社

現在

株式会社
JERA

- 燃料調達
- 火力発電

中部電力
株式会社

- 持株会社
- 再生可能エネルギー
- 原子力発電

中部電力ミライズ
株式会社

- 小売

中部電力パワーグリッド
株式会社

- 送配電

中部電力グループ³社

■ 電気料金が話題になっています

「漏電疑うレベル」 **電気代高騰で悲鳴** 一般家庭で“12万円超”も...

2/8 テレビ朝日

「どこまで苦しめるの」電気代の請求額に驚き **4月からさらなる値上げも**

2/5 FNNオンライン

電気を送る電線等の利用料 **「託送料金」値上げ**で
事業所や工場等の電気料金値上げ... 今後家庭用もか

2/3 富山テレビ

電力9社、**赤字合計1兆円超え** ロシア侵攻や円安で燃料高騰打撃

2/1 共同通信

電気代、追加軽減策検討 首相「ちゅうちよなく」

2/5 FNNオンライン

■ 小売電気事業者は、電気料金をどうしようとしているのか？

中部電力ミライズを例にとって見てみましょう

2023年1月30日 中部電力ミライズ プレスリリースより抜粋

当社は、特別高圧・高圧のお客さま向けの標準料金メニュー（以下「標準メニュー」）を**本年4月から見直す**とともに、本メニューでのご契約を希望される中部エリアの特別高圧・高圧のお客さまの受付を、1月31日10時から再開することとしております。

中部電力パワーグリッド株式会社による託送供給等約款の見直し内容が、1月27日に認可されたことを受け、当社は、認可後の当該約款の内容を踏まえ、**標準メニューの電気料金を見直し**しましたので、お知らせいたします。

見直し後の標準メニューに、2023年3月適用分の燃料費調整を反映した場合、**見直し前と比較して約8.6～9.4%の値上げ**となります。

■ 小売電気事業者は、電気料金をどうしようとしているのか？

この動きのなかには、主に3つの要素が含まれています。

①

燃料費高騰の影響等を受けた料金値上げ

値上げ

②

国による電気・ガス価格激変緩和対策

値下げ

③

託送供給等約款の見直しの反映

値上げ

■ ① 燃料費高騰の影響等を受けた料金値上げ

2022年10月28日 中部電力ミライズ プレスリリースより抜粋

当社グループは、**昨今の燃料価格や卸電力市場価格の高騰**により、**電力の調達費用が増加し、極めて厳しい収支・財務状況**となっております。このような厳しい事業環境下でも安定して電気をお届けするためには、**特別高圧・高圧のお客さま向けの標準料金メニュー（以下、標準メニュー）の見直し**が必要と考え、その内容について検討してまいりました。（中略）お客さまに安定して電気をお届けするため、**2023年4月からの標準メニューの見直し**内容を取りまとめました。

① 電力量料金単価の見直し

- 現在、中部エリアで中部電力ミライズとご契約いただいている特別高圧・高圧の全てのお客さまの電気料金単価を、**特別高圧で3.23円/kWh、高圧で3.28/kWh**値上げいたします。

※一定の条件を置いたシミュレーションでは

高圧の事務所等

8～9%程度値上げ

高圧の工場等

9～10%程度値上げ

② 燃料費調整制度の変更

- 今回の見直しで、①最新の火力構成比を反映するとともに、②卸電力市場価格の変動も反映させる仕組みを新たに導入します。

■ ② 国による電気・ガス価格激変緩和対策

2023年12月16日 中部電力ミライズ プレスリリースより抜粋

当社は、2022年12月7日に、経済産業大臣に対し、**特定小売供給約款にてご契約のお客さま**（ご家庭および商店や小規模工場などのお客さま）の電気料金の高騰に係る**激変緩和措置**の申請をいたしました。本日、経済産業大臣より申請内容の認可を得たため、2023年2月分から10月分（2023年1月使用分から9月使用分）の電気料金の燃料費調整単価について激変緩和措置を実施いたします。

また、当社は、**低圧の基本契約要綱にてご契約のお客さま**、および**高圧のお客さま**の電気料金の高騰に係る**激変緩和措置**も実施いたします



■ ③ 託送供給等約款の見直しの反映

③ 託送供給等約款の見直しの反映

ってなんだ？

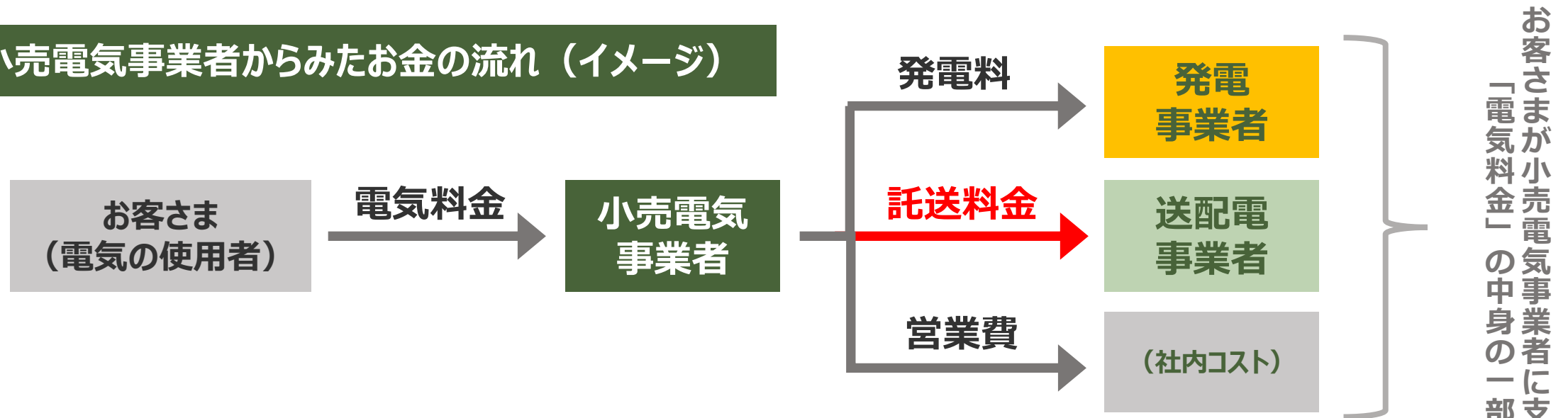
再度、2023年1月30日 中部電カミライズ プレスリリースより抜粋

中部電力パワーグリッド株式会社による託送供給等約款の見直し内容が、1月27日に認可されたことを受け、当社は、認可後の当該約款の内容を踏まえ、標準メニューの電気料金を見直しましたので、お知らせいたします。

■ 「託送料金」についておさらい

- 中部電力パワーグリッドを含む「送配電事業者」は、小売電気事業者がお客さまに電気売るために調達した電気をお客さまの電気の使用場所まで届ける（託送）の役割を担っています。
- 小売電気事業者が、電気の「託送」をした送配電事業者に支払う費用を「**託送料金**」と言い、託送料金は送配電事業者が定め**国が認可**した「**託送供給等約款**」によって定められています。

小売電気事業者からみたお金の流れ（イメージ）



送配電事業者がこの「**託送料金**」を見直し（=値上げ）するため、「電気料金」も値上げとなる。

■ なぜ「託送供給等約款」を見直すのか？

2023年7月25日 中部電力パワーグリッド プレスリリースより抜粋

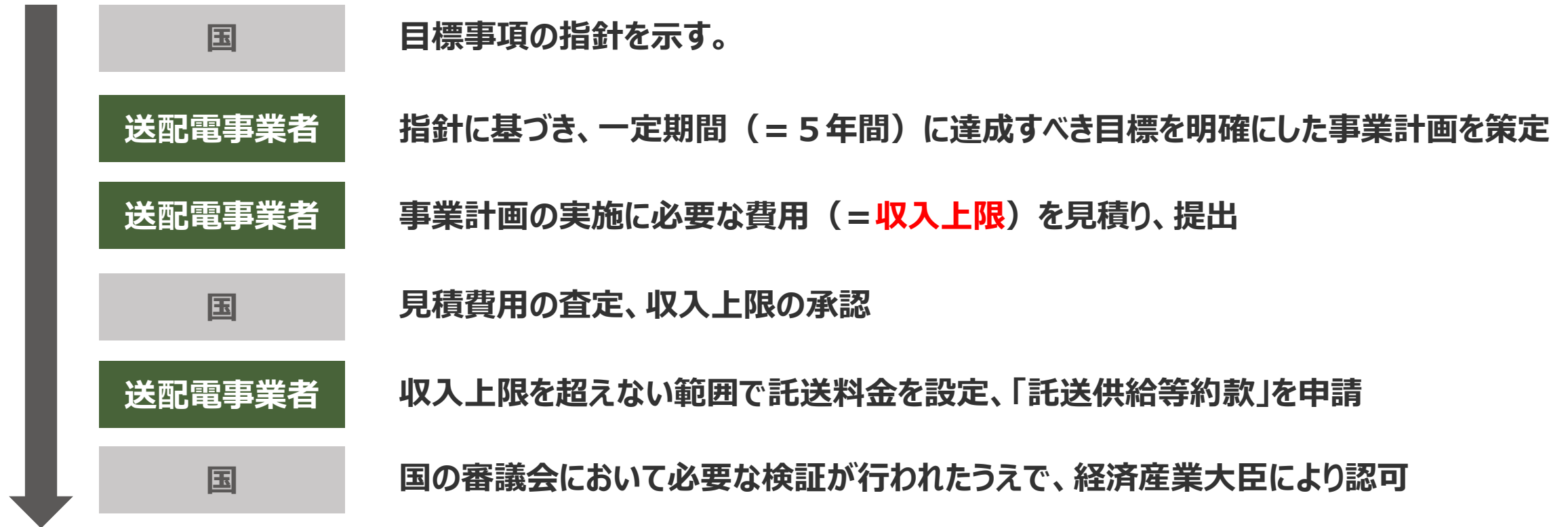
第201回通常国会において、「強靱かつ持続可能な電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律」が成立し、一般送配電事業者における必要な投資の確保（送配電網の強靱化等）とコスト効率化を両立させ、再エネ主力電源化やレジリエンス強化等を図ることを目的とした**新たな託送料金制度として「レベニューキャップ制度」が、2023年度より導入**されます。

レベニューキャップ制度においては、一般送配電事業者は、国が定める指針に基づき、5年ごとに、その供給区域における託送供給等の業務に係る料金の算定の基礎とするため、その業務を能率的かつ適正に運営するために通常必要と見込まれる収入（収入の見通し）を算定し、経済産業大臣の承認を受けることになっております。

また、一般送配電事業者は、収入の見通しを算定するにあたり、国が定める指針に規定された目標の達成に向けて、規制期間において実施する設備投資等の遂行に必要な事業計画を策定することになっております。

■ 「託送供給等約款」を見直すための手続き

- 「レベニューキャップ[°] (revenue cap) 」は、「**収入上限**」という意味です。



■ 中部電力パワーグリッドの事業計画（概要）

目標計画

- ステークホルダーのみなさまへお届けする価値・サービスの向上を目指し、国の指針に沿って、第一規制期間に達成すべき目標を設定しております。

安定供給

再エネ
導入拡大

サービス
レベル向上

広域連携

デジタル化

環境性
安全性

次世代化

費用および 収入の見通し

(※) 次スライド参照

次世代投資 計画

- 電力の安定供給、2050年カーボンニュートラル実現、コスト削減等を踏まえ、第一規制期間（5か年）合計で1,307億円の次世代投資・費用を事業計画・見積額に反映しております。

脱炭素化

- 既存系統の有効活用
- 配電運用高度化

レジリエンス向上

- 頻発する自然災害への対応
- 電力の地産地消の促進
- 災害時の系統安定機能の強化
- サイバーセキュリティの強化

広域化

- 系統運用の広域化

DX・効率化 サービス向上

- デジタル技術活用
- お客さまサービス向上

効率化計画

- 見積額には、これまでの効率化成果に加えて、業務の cảiぜんやシステム化等による人件費の削減等、113億円/年程度のさらなる効率化額を織り込んでおります。

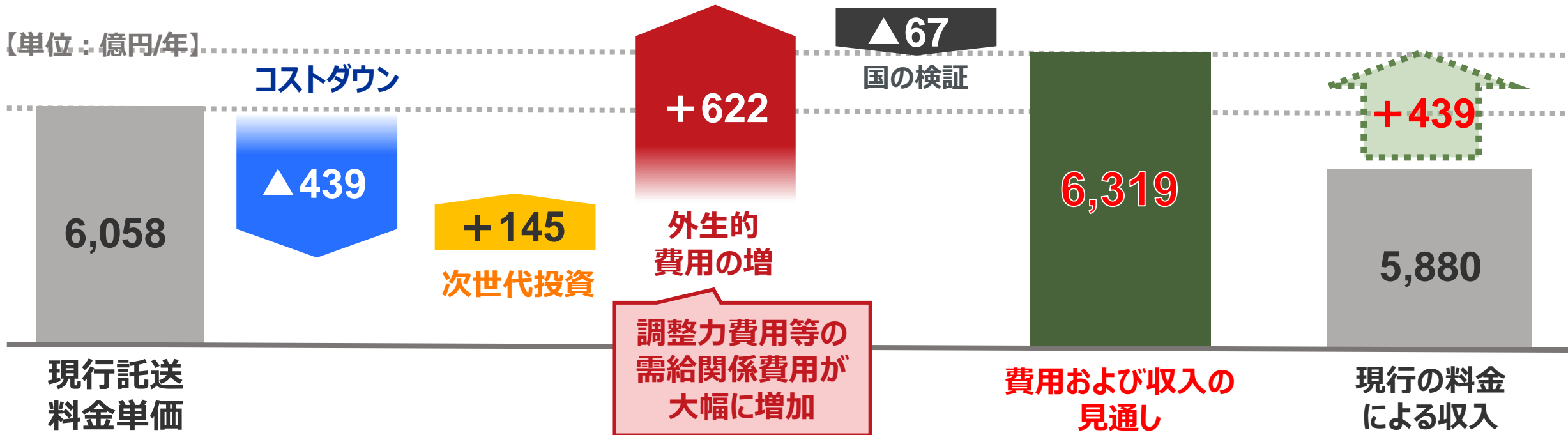
■ 費用および収入の見通し（見積額）

- 今回の費用および収入の見通しには、**現行託送料金原価比較で439億円/年のコスト低減**を反映しております。
- しかし、**需給関係費用などの外生的な費用が大幅に増加**することに加えて、**需要減少等による減収**が見込まれ、自助努力だけでは影響を吸収するのは困難な状況であり、今回の費用および収入の見通しは、**現行料金が継続した場合の収入見通しと比べて439億円/年増加の、6,319億円/年（5か年平均）**となっております。

現行託送料金原価との費用（原価）差

現行収入差

【単位：億円/年】

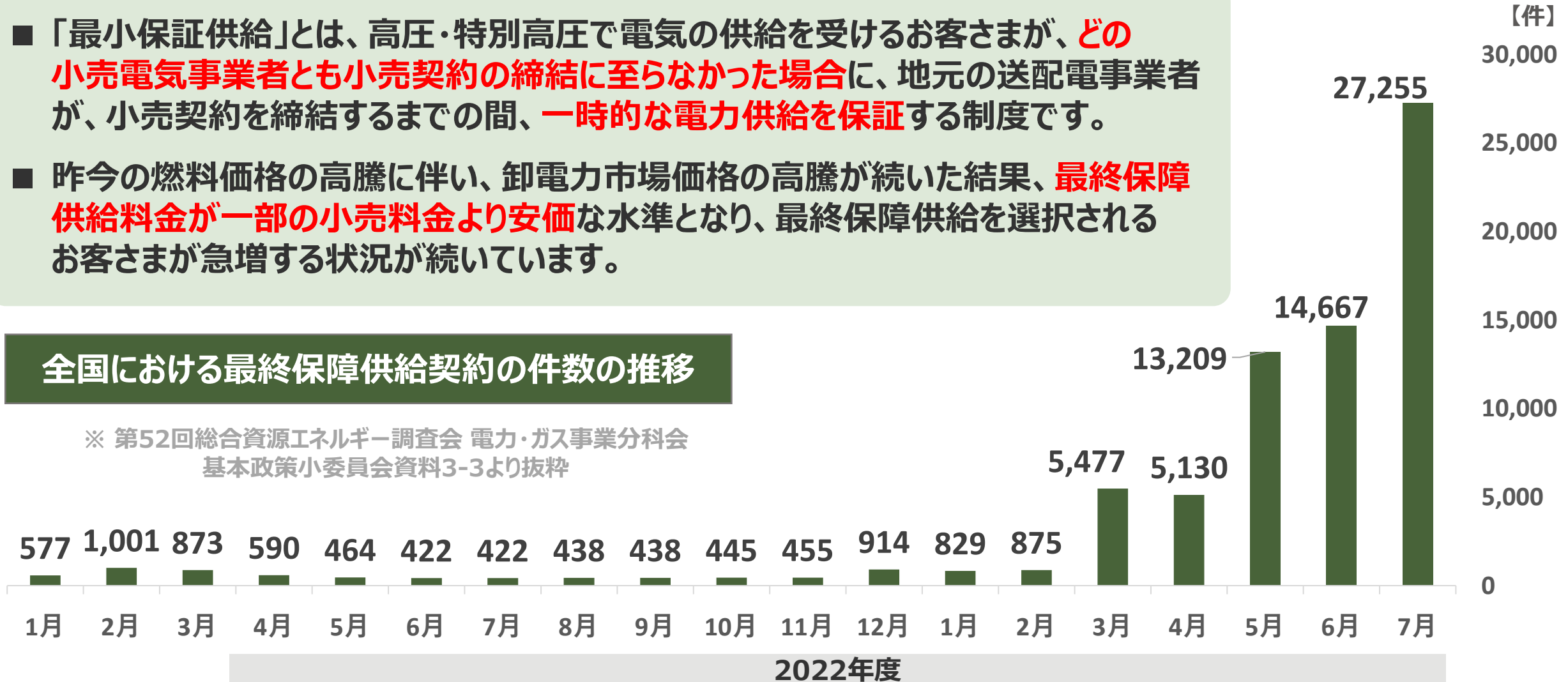


■ 「最終保障供給」が話題になりましたが・・・

- 「最小保証供給」とは、高圧・特別高圧で電気の供給を受けるお客さまが、**どの小売電気事業者とも小売契約の締結に至らなかった場合に、地元の送配電事業者が、小売契約を締結するまでの間、一時的な電力供給を保証する制度です。**
- 昨今の燃料価格の高騰に伴い、卸電力市場価格の高騰が続いた結果、**最終保障供給料金が一部の小売料金より安価な水準となり、最終保障供給を選択されるお客さまが急増する状況が続いています。**

全国における最終保障供給契約の件数の推移

※ 第52回総合資源エネルギー調査会 電力・ガス事業分科会
基本政策小委員会資料3-3より抜粋



■ 最終保障供給料金も見直しております

■ この状況は、**小売市場における競争や適切な価格形成を阻害するおそれがあることから、国の審議会で最終保障供給料金の在り方に関して議論が行われ、見直しを行うこととなりました。**

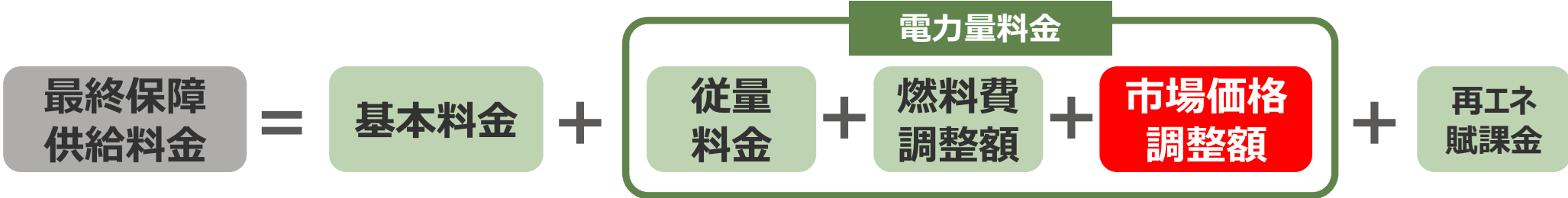
見直し前

最終保障供給料金は、中部電力ミライズが設定している標準料金メニューの2割増し

見直し後

電力量料金について、中部エリア市場価格の月間平均価格に基づき算定された**“市場価格調整額”**を加える

※この見直しは
2022年9月より
適用済



➡ 中部電力ミライズが2023年4月に特別高圧・高圧のお客さま向けの標準料金メニューを値上げすることにあわせ、**最終保障供給料金もあらためて2023年4月より見直す**予定です。

■ 認可された託送料金

■ 今回認可された託送供給等約款における、電圧別 1 キロワット時あたりの平均託送料金は以下のとおりです。

	新 【A】	旧 【B】	増減 【A - B】	増減率 【(A - B) / B】
低 圧	9.51 円/kWh	9.09 円/kWh	0.42 円/kWh	4.6 %
高 圧	3.91 円/kWh	3.47 円/kWh	0.44 円/kWh	12.7 %
特別高圧	2.07 円/kWh	1.92 円/kWh	0.15 円/kWh	7.8 %
全 系	4.98 円/kWh	4.63 円/kWh	0.35 円/kWh	7.6 %

引き続き、**安定供給とコスト削減、みなさまにご満足いただける価値・サービス**をお届けしてまいります。



中部電力パワーグリッド